

平成23年7月新潟・福島豪雨 只見川における対応について

只見川流域の安全に向けた取り組みについて

平成26年7月8日
電源開発株式会社

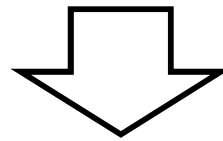
目 次

- 1．只見川における当社の取り組みの考え方
- 2．ダム放流量の低減
- 3．ダム情報の発信
- 4．調整池の堆砂対策
- 5．その他の取り組み

1. 只見川における当社の取り組みの考え方

平成23年7月豪雨による流域の洪水被害を鑑み、

- 奥只見・田子倉ダムにおいて放流量を低減するための自主的な運用を実施しています。
- 迅速かつ適切な情報の提供の観点から、流域自治体のご意見を伺いながらダム情報の発信を行うと共に、国交省HP(川の防災情報)においてダム情報を公開しています。
- 滝調整池において、支川合流部並びに効果の見込まれる箇所を中心に堆積土砂の排除を実施しています。



- 迅速かつ適切な情報の提供については、関係機関と連携して必要な改善を行っていく考えです。
- 今後も堆砂対策を継続的に実施することに加え、平成23年洪水への対策が必要な箇所に対しては、今後策定される滝調整池の河川整備計画と協調を図りながら対応させて頂く考えです。

2. ダム放流量の低減

奥只見ダム・田子倉ダムにおける当面の運用(概要)

- H23年7月新潟・福島豪雨による洪水被害を踏まえ、大規模出水時のダム放流量の低減を目的として、洪水に到達する際の水位(目標水位)を設定し空き容量を確保します。
- 確保した空き容量を利用し、ダム放流の遅らせ時間を延伸させることにより、標準的なダム操作に比べて最大放流量の低減を目指します。
- 平成24年度より取り組みを開始しています。

運用期間 ; 毎年6月21日～10月10日

ダム水位 ; 洪水量に達した時には目標水位以下



奥只見ダム



田子倉ダム

洪水量とは
ダムの下流河川の無害流量

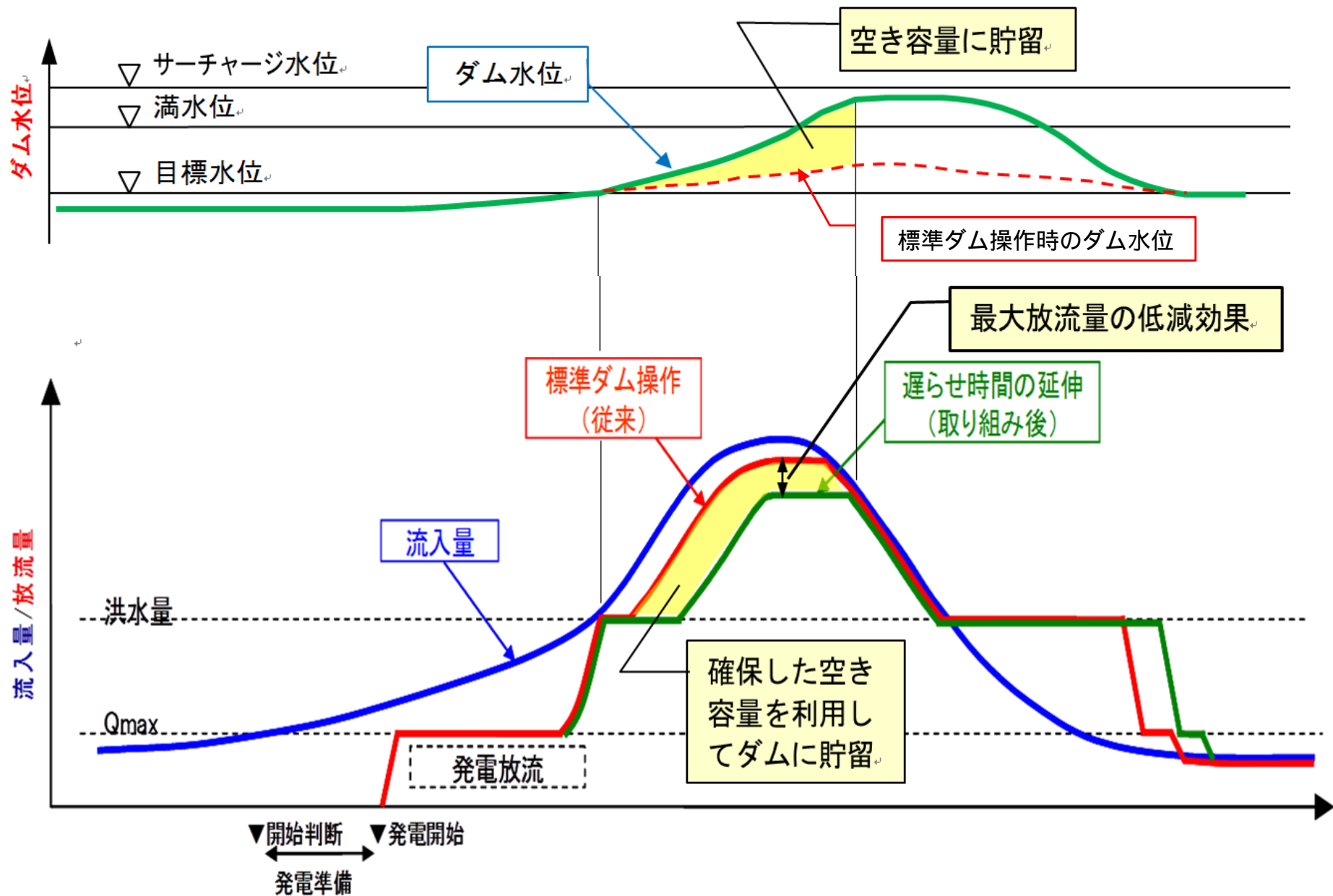


図2.1 ダム水位と放流量の低減効果 (イメージ)

3. ダム情報の発信

ダム情報の通知・通報先は、流域自治体の皆様からのご意見を反映し、H24.4から連絡先や発信情報の範囲を拡大して実施しています。

流域自治体へのダム情報の発信

対象ダム:

奥只見ダム、大鳥ダム、田子倉ダム、只見ダム、滝ダム

発信する情報:

ダム放流開始連絡

毎時連絡(ダム放流期間中)

「ダム水位」、「流入量」、「放流量」、「放流量の増減の傾向」

洪水開始連絡

最大放流連絡

洪水終了連絡

ダム放流停止連絡

通知・通報先 一覧表

凡例

○ 従前のもの

H24.4以降追加

通知・通報の連絡先	ダム放流開始					毎時(ダム放流中)					洪水開始・終了					最大放流・最大流入					ダム放流停止									
	奥只見	大鳥	田子倉	只見	滝	奥只見	大鳥	田子倉	只見	滝	奥只見	大鳥	田子倉	只見	滝	奥只見	大鳥	田子倉	只見	滝	奥只見	大鳥	田子倉	只見	滝					
北陸地方整備局阿賀川河川事務所管理課																														
福島県山口土木事務所総務課																														
〃 宮下土木事務所業務課																														
福島県南会津警察署地域交通課																														
〃 会津坂下警察署地域交通課																														
南会津地方広域市町村圏組合消防本部																														
東北電力(株)会津技術センター制御所																														
只見町町民生活課																														
金山町総務課																														
三島町総務課																														
柳津町総務課																														
喜多方市山都総合支所住民課																														
〃 高郷総合支所住民課																														
会津坂下町総務課																														
西会津町町民税務課																														
東日本旅客鉄道(株)仙台支社施設部施設指令																														

○ 最大流入量のみ

ダム情報の公開

- 国土交通省のホームページの「川の防災情報」において当社の奥只見、大鳥、田子倉、滝ダム情報を公開しています。

(ダム水位、放流量、流入量)

インターネット
iモードによる
「雨量」「水位」等の
情報提供を
行っています。

大雨・豪雨の時の「雨量」「水位」等をリアルタイムで提供しています。
インターネットやiモードによる河川情報の提供は、誰もが利用しやすい情報通信手段で、全国の河川に関する「雨量」「水位」等の情報をリアルタイム(現時点)で提供することにより、水害・水難等の防止を図ることを目的としています。

インターネット
<http://www.river.go.jp/>

iモード
<http://i.river.go.jp/>

出典: 阿賀川河川事務所ホームページより

全国レーダ雨量

「洪水予報・水位周知河川」
情報発表状況

北海道 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄

レーダ雨量
雨量・水位・水質・雑音
ダム情報
洪水予報等
水防情報
ダム新設通知
Q&A・問い合わせ
お知らせ
利用における注意事項
リンク集

洪水予報 (5/10 15:00)

河川	洪水予報
北海道	発表なし
東北	発表なし
関東	発表なし
北陸	発表なし
中部	発表なし
近畿	発表なし
中国	発表なし
四国	発表なし
九州	発表なし
沖縄	発表なし

■ 法人運営河川
■ 法人委託河川
■ 法人運営河川
■ 法人委託河川

気象情報・注意報
新橋品販入に関するお知らせ

出典: 阿賀川河川事務所ホームページより

ダム諸量一覧表 (北陸地方)

観測時刻: 2014/05/10 15:00

ダム名	管理区分	流域平均 時刻雨量 (mm/h)	貯水位 (m)	全流入量 (m³/s)	全放流量 (m³/s)	貯水量 (10³m³)	貯水率 (有効容量) (%)	貯水率 (有効容量) (%)	過去ゾーン へのリンク
奥只見ダム(電源開発)	国河川	-	733.18	104.10	2.80	254966	-	-	-
田子倉ダム(電源開発)	国河川	-	494.05	60.00	198.00	224125	-	-	-
滝ダム(電源開発)	国河川	-	343.60	308.00	212.00	-	-	-	-
大鳥ダム(電源開発)	国河川	-	555.92	39.80	0.00	-	-	-	-

出典: 阿賀川河川事務所ホームページより

定期的な情報伝達訓練の実施

- 「洪水対応演習・ダム管理演習の実施」に合わせ、河川管理者、関係自治体の皆様他と伝達訓練を定期的の実施しています。

4. 調整池の堆砂対策

堆砂排除については、持続可能性・安定性を勘案して中長期対策の策定に向け鋭意検討を進めているところです。

【早期対策(H26～28年度)】

- 中長期対策を策定するまでの堆砂排除は、年間3～5万m³程度(陸上掘削)を目途とします。

【中長期対策(H29年度以降)】

- 堆砂排除は、最適な浚渫工法および新規搬出先等の検討を鋭意進めていきます。
- 堆砂排除は、毎年実施している測量結果に基づき、より効果的な範囲を選定し実施していきます。
- 堆砂排除は、年間約5～10万m³程度を目途とします。
- 流域の総合土砂管理の観点から、土砂スルーリングの実現に向けて河川環境への影響等について関係者と検討を進めていきます。

早期対策(H26年度)

- 陸上掘削にて可能な限り堆砂排除を行います。
- 調整池への土砂の流入を抑制するため、調整池上流部で掘削を行います。(ポケットを確保)
- 堆砂排除した土砂を利用して蒲生地区の社有地に護岸を築造し、冠水防止対策を進めていきます。
- 魚類の生息環境にも配慮して、堆砂排除を行います。

【堆砂排除(予定)】

掘削し搬出 ————— 約3万m³

仮置き場所からの搬出 —— 約5万m³

搬出先は、蒲生地区(社有地)ほかを予定しています。



図4.1 H26年度 堆砂排除場所と搬出先

【蒲生地区(社有地)搬出計画イメージ(護岸築造含む)】

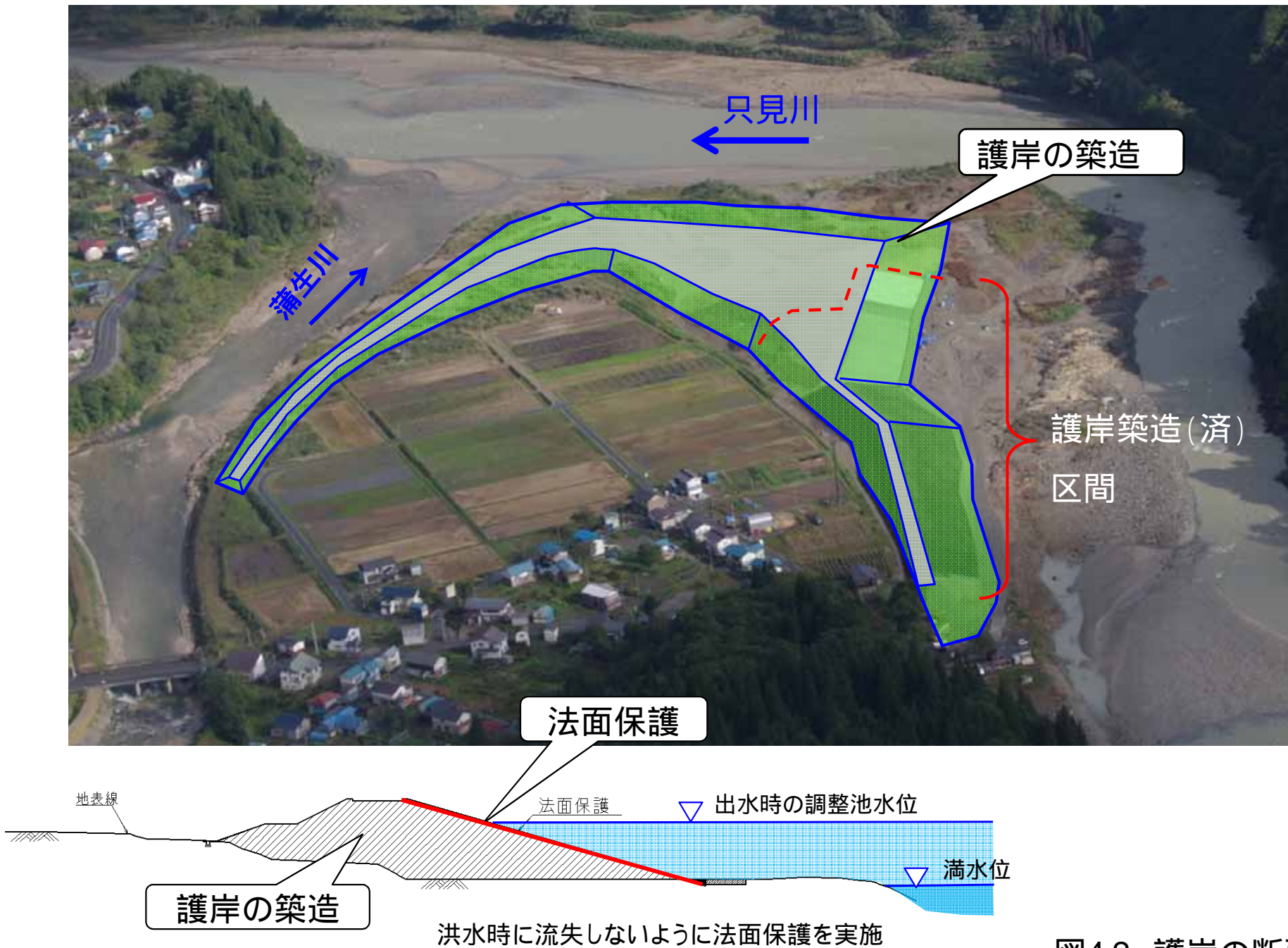


図4.2 護岸の断面

5. その他の取り組み

- H24年度より導入した降雨予測システムについて引続き検証を行いながら精度向上に取り組んでまいります。
- 広報活動の強化に向けた検討を進めてまいります。(ダム放流に関するお知らせ、当社施設見学他)
- 情報伝達ルート多重化の検討を進めてまいります。(衛星電話の活用など)
- 東北電力(株)と情報交換を行い、引続き只見川ダム群の出水時の連携に努めてまいります。
- 出水前後の点検(施設及び調整池周辺)について引続き努めてまいります。
- 出水対応における社内の教育・訓練について引続き努めてまいります。